



キビ草取りありがとうございました！

前途洋々

6月20日（金）、この日も朝からぐんぐん気温が上がり、暑くなりました。そんな中、朝早くからPTA役員の方々を中心にキビ草取りに参加いただき誠にありがとうございました。3～6年の児童も、いもの畝とキビ畑の草をとりました。これまで保護者の皆様にたびたび手を入れていただき、草に負けないキビが伸びています。気温が高かったため、計画より少し短めの活動となりましたが、皆様のおかげでとてもきれいになりました。これからも、成長をしっかり見ていきたいと思います。ありがとうございました！

（写真右：作業前、保護者に挨拶をする6年生、左：草とキビを見分けながら、作業を進める6年生。今年も丈夫に大きく育ちますように！）



6月の学校教育審議員訪問～5・6年の授業を見ていただきました

今年も、教育委員会から教育審議員の先生方がお見えになり、定期的に授業づくりについて考える時間を設けています。6月は23日（月）に、5・6年の算数を見ていただき、感想やご指導をいただきました。5年生で、主に取り組んだのは次の学習課題。「れなさんの家には、生後10日の犬がいます。今の体重は630gで、生まれたときの体重の1.8倍です。生まれたときの犬の体重は何gでしたか。」また、本時のめあては「生まれたときの子犬の体重の求め方を考えよう。」というもの。ここで大切になるのは、「もとにする大きさ」を捉えた上で、課題が示している大きさを求めることができるか。言い換えれば、考え方を明らかにしながら、その大きさの求め方を説明することができるかです。感覚的に分かっているつもりでも、言語化しながら大きさの関係を説明することが必要です。ここでは、生まれたときの子犬の体重が、もとになる大きさ「1」となりますが、これを□と表したとき、「 $\square \times 1.8 = 630$ 」が頭に浮かぶかどうか……。この課題は大きさの関係が浮かびやすいのですが、そうではない問いもあります。これは次の時間の宿題です。そして6年生。6年生では、世の中で示されているデータが本当に妥当な内容であるか見極めるという課題が出されました。使われたのは「ホエールウォッチング」のツアー広告。クジラに会える確率が98%とうたわれている広告があったとします。船が出た回数122回に対し、クジラに会えたのは120回ですから間違いありません。しかし、船を出せた日数が61日だったとしたら、この98%という数字はどのような捉えに変わるでしょうか。ちまたにあふれる様々な情報。その正しさを見抜く目を養うために、このような勉強も行っています。



課題に取り組む6年生。様々な視点から考えることが必要です。



5年生の教室で授業を参観される豊田教育審議員。



適用問題に取り組む6年生。意見交換も真剣です。